

- この添削ツールの使用に必要な準備
 - pygments のインストール: `pip install pygments` とかで. (要 python)
 - `correction.sty` を \TeX が見つけられる場所に置く. 例えば `~/texmf/tex/` とか?
- 使い方
 - `python3 create.py /path/to/report.tex` とすると, `/path/to/correction_report.tex` に添削用のファイルが生成される. (基本的にはコピペするだけだが, `minted` のバグ(?) を回避するために, タブ文字をスペース 2 つに置換している)
 - タイプセットは `platex` だが, `minted` を使うために `-shell-escape` オプションが必要.
 - 受講生の書いたコードによっては, `minted` 内のエスケープ文字や改行位置を変更したい場合もあるかもしれない. その場合は, この文章の \TeX ソース冒頭の `\newtcblistingExpand` あたりのコメントを参考にすること.
- 以下に色々とサンプルを載せておいたので, PDF と \TeX コードを見比べて参考にしてください.

```

1 \documentclass{jsarticle}
2
3 \begin{document}
4 \section{せくしょん}
5 ほげほげほげ $a+b=c$ 文章の間に矢印を挟んでも大丈夫.
6 $\int_0^1 x dx = \frac{1}{2}$
7
8 \begin{itemize}
9   \item ほげ
10  \item ふが
11  \item びよ
12 \end{itemize}
13 \usecomment オプション引数で y 方向の shift を指定できるが,
14 何故かエスケープ中に - を直接書けない (minted のバグ? 仕様?).
15 とりあえずの対策として, 予め \newcommand してある.
16
17 文章に下線を引いたり, 四角で囲ったりもできる.
18
19 全体的に色々とオプションでいじれるようにした.
20 いちいち説明するのは面倒なので,
21 この  $\text{\TeX}$  コードにオプションマシマシのサンプルを載せておきます.
22 色々と察してください.
23
24 \end{document>

```

コメントを書くテストです. 複数行あったりしても平気. バックスラッシュは普通に `\textbackslash` で.

数式中でも大丈夫. コメントが重なる場合はオプションで `yshift` を指定すればずらせる

コメントの流用もできる.

コメントの流用もできる.

コメントの流用もできる.

オプションマシマシのコメントです. 表示位置, 幅, 背景色, 矢印の色を変更できます.